

No. 77

2009年(平成21年)

3月1日

発行

浄土真宗本願寺派

和歌山教区日高組

責任者

鈴木悟峰



ここも邪見身も邪見
念佛申すが一の手よ
念佛ない人地獄に沈む
妙好人
浅原才市翁



第14回 日高組「真宗法座」

阿弥陀経に聞く

『また舍利弗、極樂國土には七寶の池あり。八功德水そのなかに充滿せり。池の底にはもつばら金の沙をもつて地に布けり』

お仏壇は、阿弥陀経をそのまま描いたものです。お仏壇にお茶や水が要らないのは、このお経に水が潤沢に説かれているからです。七宝の池には、蓮池と浴池とがあります。七宝の池とは、七宝で莊嚴された池で、その七宝とは、金・銀・瑠璃・玻瓈・碑礎・赤珠・碼碯のことです。八功德水とは、八種のすぐれた特質のある水のことです。甘・冷・軟・軽・清淨（清らか）・不臭・飲時不損喉（のどを損しない）・飲口不傷腹（腹を痛めない）などの性質をいいます。そして、お仏壇の花瓶（かひん）の水が八功德水なのです。確かに、お仏壇の花瓶に水道水を入れて、夏なんか花が腐つてとんでもない臭いになるかもしれません。お仏壇にそなえるものに、この功德があるので。亡くなつた人が、水に乾いた亡者になるのではないかと思う人もいますがまったく心配するこではありません。

仏壇にいろいろな思いをお持ちだと思いますが、お淨土を模したものであり、阿弥陀さまを拝んでいると言うことを忘れてはいけません。

私たちは、ともすればこの世の延長上にお淨土があるものと考えてしまい、日常生活をそこに見てしまいがちになり、その思いに陥ってしまいます。お淨土は阿弥陀さまの国であり、仏さまによつて凡夫が凡夫のままに仏にならせていただいているのです。

（永原）

現世利益和讃のこころ

世界的な不況からか、今年の正月三ヶ日の初詣での参拝者数は、明治神宮の三百一十一万人を筆頭に全国で九千九百万人を超えて過去最高の人出であつたと報じられました。日本人の「現世利益」に対する関心度の高さが伺えます。

中学生のとある日、私は実家の近くの那智山に同級生六人で自転車で登ったことがありました。青岸渡寺にお参りし、那智の滝の滝壺を見に行こうという話になり、石畳の長い階段を下り、入り口で入場料を支払うと白い「家内安全」と書かれたお札(お守り)を貰いました。家に帰つて真っ先に父へ「これもらつたんや、元氣にしてなあ」とそのお札を手渡すと、父は顔色一つ変えずに受け取るやいなや、目の前でビリッと破裂(ひきりつ)ごみ箱に捨てたのでした。一瞬の、そして無言の出来事でした。当時は京都と勝浦を毎週末に汽車で往復し、病気で入院したこともあり、病状を子供心に心配していたのでした。

その後、この地に法灯を継ぎまして、元日修正会に正信偈のあと現世利益和讃十五首をお勤めしていました。和讃には、「息災延命のために」「七

難消滅」「定業中天のぞこりぬ」「よろづの悪鬼をちかづけず」とあります。お念仏に出遇えたことが苦惱の人生を逃げることなく、確かな足どりで歩んでいけることを、ただ喜ばれた親鸞聖人のお心がひしひしと伝わってきました。

およそ、宗教とは現世利益を得るためにものであるといふ通念があり、信心が深くないほどご利益をたくさん貰うことができるとされています。熱心に信心してもご利益がなければ「信心が足りないから」と済まされます。

一般にいう現世利益とは、「家内安全」「商売繁盛」「無病息災」「合格祈願」「景気回復」など現在直面している様々な悩みや苦痛から脱却するための祈願であり、自分の願いが叶うこと、欲望が満たされることをさします。

親鸞聖人も現世利益について、「淨土和讃」に、現世利益和讃十五首を詠まれました。一般的にいう現世利益とはその意味が違うことは明らかであります。

聖人の主著『教行信証』で、阿弥陀さまからの金剛の信心を得たら、この世で必ず十種の利益を獲させていただく

と言われています。その十種とは、(1)冥衆護持、(2)至徳具足、(3)転惡成善、(4)諸仏護念、(5)諸仏称讚、(6)心光常護、(7)心多歡喜、(8)知恩報德、(9)常行大悲、(10)入正定聚の利益であります。

ここではその全てを解説しませんが、(10)の入正定聚の益(正しく仏に成ることの定まつた仲間にすること)は中でも重要ですので少し説明します。金剛の信心をいただいた念佛者はどのような人生を歩もうとも、どのような形で「いのち」が終わらうとも、いのち尽きたとき私は必ず仏に成らせていただく身となつているという利益です。

不況のどん底で商売がうまくいかずに悩んでいるとき、繁盛すれば有り難いことですか。病気で苦しんでいるとき、その病気が治ればとてもうれしいことです。志望校に受けたて将来を夢見ることも大切なことです。

これらを宗教に求め、仮にそれが叶つたとしても、ほんの一時的なものに過ぎず、すぐに別なことで苦しみ、悩んでしまうものです。しかし、お念仏のみおしえはそうした悩みや苦しみを根本的に解決して下さるのです。

病気になろうと健康であると、災難に遭おうとも、苦惱の病が繁盛しようとも、苦惱の中につれて幸・不幸に左右されない安心の心がいただけるのです。

「南無阿弥陀仏をとなふれば、重圓繞して、よろこびまもりたまふなり」(現世利益和讃)どんなひどい仕打ちや災難に遭おうとも、死の宣告を受けようとも、この私を哀れみ慰め、励ましてくれる阿弥陀さまがいつも一緒に、親鸞聖人に遭おうとも、死の宣告を受けようとも、この私を哀れみ慰め、励ましてくれる阿弥陀さまがいつも一緒に、親鸞聖人に

や十方無量の諸仏も私を百重にも千重にも取り囲んでお念佛申す私をようこそようこそといつでもどこでも見守つて下さっている、なんとも心強いことです、とお念仏の中に気づかされるのです。眞の現世利益を聖人は和讃にお示し下さっています。称名(楠原)

法悦くイズ

下の1~3の【】内にそれぞれ漢字1字を入れて食のことばを完成させて下さい。

[食のことば]

一、み仏と、みなさまのおかげによりこのご馳走をめぐまれました。

【1】くご【2】を【3】び、
ありがとうございます。

76号の正解は①喜②助③尽でした。正解者の中から次の方に粗品を進呈いたします。

日 高 町 宇 惠 節 子 様	由 良 町 島 田 常 美 様
由 良 町 磯 田 由 美 様	由 良 町 畑 中 啓 子 様
由 良 町 浜 上 由 美 子 様	由 良 町 赤 井 京 子 様
由 良 町 井 上 登 未 子 様	由 良 町 吉 岡 百 合 子 様
日 高 町 稲 葉 英 子 様	由 良 町 中 本 笑 子 様

(楠原)

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、御感想、御意見等を明記の上、

〒649-1221
日高郡日高町志賀3851
善宗寺内 組長事務所までお送りください。

※抽選で10名の方に粗品を差し上げます。

※締め切り日
平成21年5月31日
必着

※発表は次号

最近テレビをみていますと、北極近くの氷の世界アーバンランドという国において今までホツキヨク熊が人里に来る事が無かつたのが最近は人里までホツキヨク熊が餌を求め熊が餌を求めてやつてくるという話を放映しています。

「えにし」

最近テレビ

を

ホツキヨク熊は普段暖か

い間は餌場とは別の場所で

過ごし、寒くなつて氷が張

ると何百キロという道程を

かけて餌のあざらしを求め

て大陸を歩き、決まつた餌

場まで行くのですが、最近

は地球温暖化の影響で氷が

しつかり張らず彼らの行く

手を阻んでしまい、仕方なく

彼らは生きる為、そして

子孫を遺す為に餌を求めて

人里まで来るのだそうで

す。しかしそこで待つていま

るのは人に危害を加えるか

が、気の遠くなるほど長期

間にわたり、言語を絶する苦

しみを受けると説かれていま

す。死ぬほどの苦しみののち、

ことができるときっています

が、他の生物の存在、そして

地球の豊かな恵み無くして

人が生き続ける事は出来ま

せん。すなわち私たちは人

きています。平然と当たり前の

ように感謝することもなく。

また、わが身可愛いさの煩

惱の中に、無自覚のうち多く

の人を傷つけたり、迷惑をか

けたりしながら暮らしていま

す。自分のすぐたを深く静かに

みつめたときお淨土に生ま

れる資格などはなく、地獄行

きの資格をもち合わせていま

す。その私たちを救いたいと

願われたのが、阿弥陀さまの

前身である法藏菩薩の誓いで

す。そして、南無阿彌陀仏の

お念佛の救いです。『往生要

集』には、「往生の業は念佛

をもつて本と為す」とあります。

地獄行きしかない私を、

今、ここで、お念佛ひとつで

お救いくださるたのもしい仏

すぐ生きかえて再びおなじ

苦を受けます。

私たちは、人として生きて

いく上で、意識するしないに

かかわらず、毎日、いのちあ

るものを見つけて(殺して)生

ります。

門徒心得

地獄行きの私

の書物が世に出ることで、地獄のおそろしいありさまを

源信僧都(平安中期の高僧)

と言う方がおられます。その

高僧があらわされた書物に

『往生要集』があります。こ

れが描かれるようになります。

描かれた地獄相図や、多くの菩

薩などをもつた阿弥陀来迎図

が描かれるようになります。

小地獄があり、それぞれの

小地獄に付属している地獄を

合わせると、二百七十二の地

獄があります。行き場所には

困りません。なかでも凄惨な

のが熱地獄でした。等々、

黒縄・叫喚・大叫喚・焦熱・阿鼻地獄の八つの熱

地獄です。これらの地獄は有

限の世界で、いつかは脱する

人里に来る事が無かつたのが最近は人里までホツ

キヨク熊が人里に来る事が

あります。

ホツキヨク熊は普段暖か

間同士の縁だけではなくて、地球のあらゆる環境。生物との「えにし」によつても生かされているのだとおいて目覚ましい科学的進歩を遂げ、今現在本当に豊かな生活を享受しています。

一方、その代償として地球上の他の生物の生態系を脅かし、犠牲にしてしまつておるという現実もあります。

これから二十一世紀は人だけが繁栄していくのです。しかし他の生物、そして地球環境との共存の道を人間は真剣に模索していくべきではないでしょうか。

（堺崎）

方、本当に有がどうございました。

私はとつて一番うれし

かったことは、まがりなり

にも「正信偈」をつとめら

れるようになつたことで

す。

子供の頃、亡父が折に

され「正信偈」をつとめてい

るのを耳にしました。「今

日は母の命日でもないの

に」と不思議に思つたも

のです。母が亡き後、7才

から20才までの6人の娘を

一人で育ててくれた父で

す。苦労の多い日々だった

事だと思います。

辛い時、迷う時、嬉しい

時、父は阿弥陀さまに聞い

てもらつていたのではない

でしようか。自分がおつと

めができるようになつて、

めができます。

父の気持ちに触れ

たような気がします。

おつとめをして

いると、仏間の父

母の写真が笑顔に

見えます。

これからもたま

には「正信偈」を

見つめながら家族

と共に穏やかな

日々を過ごしてい

きたいものと思つて

おります。

連研を終えて

覚性寺門徒 平林 恭子
連研を終え、無事に修了証を頂き、ほっとしています。

ご指導下さいました先生



連研修了証授与式

自分たちを深く静かにみつめたときお淨土に生まれる資格などはなく、地獄行きの資格をもち合わせていま

す。その私たちを救いたいと願われたのが、阿弥陀さまの前身である法藏菩薩の誓いで

す。そして、南無阿彌陀仏のお念佛の救いです。『往生要集』には、「往生の業は念佛をもつて本と為す」とあります。

地獄行きしかない私を、

今、ここで、お念佛ひとつで

お救いくださるたのもしい仏

すぐ生きかえて再びおなじ

苦を受けます。

私たちは、人として生きて

いく上で、意識するしないに

かかわらず、毎日、いのちあ

るものを見つけて(殺して)生

ります。

